

議 事 録 要 旨

会議名	第1回芦原温泉駅まちづくりデザイン部会
日 時	令和3年7月2日（金） 19:30～21:00
場 所	あわら市役所 正庁
出席者	<p><部会員> 市民／笹原修之（部会長）、高木めぐみ、西田幸男、八木康史 福井工業大学／川島洋一（教授） （一社）あわら市観光協会／津田香由紀 あわら市文化協議会／堀田あけみ あわら市商工会青年部／松川秀仁 福井県農業協同組合／深町治男 野菜ソムリエコミュニティ福井／土橋登喜雄 芦原温泉旅館協同組合／山口賢司 音泉組／青柳淳一 農家カフェ／藤井和代 ゲンキッズステーション ASOVIVA!／長田康秀</p> <p><事務局> 土木部／西川理事 新幹線まちづくり課／山本課長、翠補佐、木村主査 観光振興課／赤神補佐、牧野職員 商工労働課／中村補佐</p> <p><オブザーバー> あわら市／佐々木市長</p>
欠席者	<p><部会員> 市民／森嗣一朗</p>
内 容	<p>1 開 会</p> <p>2 部会長あいさつ <u>部会長：</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・芦原温泉駅前は変化してきており、屋根付き広場の工事も始まり、見慣れた信号の位置も変わってきている。西口立体駐車場も完成し、駅前の再開発が進んできている中で開業に向けて我々ができることは最善の意見を出し合って開業を目指していきたい。駅前の再開発を数年前から進めているが、駅前だけでなく竹田川周辺まで足を運んでもらえるような仕組みづくりを考えていく中でカヌー体験を行うことに決まった。長年デザイン部会で議論されてきた中の延長から出てきたものが実際に動き出した。こういったものを一つ一つ目に見える形にしておくことが私たちの仕事である。限りある予算の中で要望等も出して、形にしていきたい。

3 報告事項

(1) 駅周辺整備の進捗状況について

事務局：

- ・資料3を基に、説明

(2) (仮称)賑わい施設管理運営計画について

事務局：

- ・資料2を基に、賑わい施設管理運営計画の内容を説明

4 協議事項

(1) (仮称)賑わい施設の音響・機器、備品配置について

事務局：

- ・(仮称)賑わい施設の音響・機器、備品配置について、質問があればお願いしたい。

部会員：

- ・備品の写真は、イメージか。

事務局：

- ・基本的にこれらの備品を入れる予定である。

部会員：

- ・1ページの①ネットワークの四角いテーブルだが、角があると子どもたちが怪我をする恐れがあるので丸いテーブルはないか。

事務局：

- ・丸いテーブルの導入を検討していく。

部会員：

- ・6ページの機器配置イメージのホール内操作に記載のあるCDレコーダーとは何か。録音できるということか。時代にそぐわないので必要ないと思われる。CD-RWでないと録音できないのでメモリスティック用があればいい。長年、イベントをしてきたがCDで録音している人は見たことがない。

部会員：

- ・今時、録音でなく動画で録画するほうが多いと思う。

事務局：

- ・現在は、標準的なものを掲載しているが精査していきたい。

部会員：

- ・ステージベンチはウッドデッキ風だが隙間があるとヒールの方が挟み込む危険がある。

事務局：

- ・普段はベンチとして使い。イベント時はステージとして使い、上がフラットになるようにカーペット等を敷く。

部会員：

- ・高さはどれぐらいか。

事務局：

- ・60cmぐらいだが、かなり重い。ステージベンチ運搬用の台車を使用して運んでもらう。

部会員：

- ・文化協議会の団体メンバー年配の方が多いので運べない気がする。

事務局：

- ・施設の職員もいるので協力できるところは協力していくが、基本は各団体をお願いしたいが、柔軟に対応していきたい。

部会員：

- ・西口賑わい施設管理運営計画にあるサポーターとは何か。

事務局：

- ・施設を管理していく上で職員ではなく市民の方などで協力していただける方に登録してもらい、アイデアや人的支援をしていただくことを想定している。他の事例を参考に十分検討としてから制度化していきたい。

部会員：

- ・ホール内操作盤で音響や映像の操作ができるのか。

事務局：

- ・可能ということで話を進めている。

部会員：

- ・4ページの倉庫の運搬車は、安全面を配慮してブレーキありがよい。

部会員：

- ・3ページの⑧テントの重りはないのか。

事務局：

- ・重りは用意する。

部会員：

- ・水回りは、どこにある。

事務局：

- ・広場とホールの境の柱に数か所設置する予定である。

部会員：

- ・備品類は、賑わい広場である程度収納できるのか。

事務局：

- ・1ページの③と記載のある場所と4ページの場所に収納する。

部会員：

- ・防犯カメラをつける予定はあるか。どこで見ることができるか。

事務局：

- ・つける予定で2階の機械室で確認できる。

部会員：

- ・ハイビジョン固定カメラは、防犯カメラとは違うということによいか。

事務局：

- ・イベント等の様子を映すためのカメラである。

事務局：

- ・ハピテラスにある広場全体を映しているものと同じイメージである。

防犯カメラは、施設管理で警備会社と契約するが、その中で警備会社が設置するのが主

流のようである。

部会員：

- ・防犯カメラを常時確認しているわけではないということか。現在のあわら市では録画はしており、万が一に何かあった場合に確認できる仕様となっている。

事務局：

- ・経費が掛かるので常時人を置いて監視しているのは厳しい。夜間だと何かあれば警備会社に連絡がいくことになる。

部会員：

- ・カメラがあるだけで抑止効果はあると思う。

部会員：

- ・80 インチの発着表示用液晶モニターは、イベント時にも表示されているのか。

市長：

- ・駅の待合室の機能も兼ね備えるので表示している。

部会員：

- ・49 インチのサイネージは可動式のものか。大型映像装置と発着案内スクリーンは壁付けか。

事務局：

- ・そうである。液晶のものである。

部会員：

- ・テーブルはローラーみたいなものつくのか。運ぶためのキャリーはないか。

事務局：

- ・ローラーはついていない。

部会員：

- ・女性だと1つ1つ運ぶのは大変だと思う。少しでも手間を減らしてあげられるとよい。

事務局：

- ・精査して再度検討させてもらう。

部会員：

- ・49 インチのサイネージはイベントで使用可能か。

事務局：

- ・通常はあわらの観光情報等を流す予定である。イベント時にも使える。

部会員：

- ・身を持って体験しているが、デジタルサイネージは使い勝手の悪い場合がある。その場で使いこなせないのは困るので使い勝手のいいものを考えて欲しい。

市長：

- ・施設の空調や照明関係の話をして欲しい。

事務局：

- ・広場は屋根付きなので空調はないが、ホールはある。ただし、空間が広いので冷え切ることはないと思ってほしい。ある程度過ごせるレベルである。

市長：

- ・照明も時間帯に合わせて照度が変わる。天井から自然光が入るときは照明を消したりし

て調整している。絶えず明るいというわけではない。

部会員：

- ・将来的に太陽光パネルの導入はあるか。

市長：

- ・導入の検討もしたが、採算がとれないため断念した。

(2) 今後のスケジュールについて

事務局：

- ・資料4を基に、説明

事務局：

- ・1つ目は、マルシェで使用できるコンテナを作成したいと考えております。2つ目はプレ的なイベントを作成したワゴンを使ってできないかと思っている。

市長：

- ・長野県の飯山駅では、地元の子供たちが製作した机やベンチが置かれている。買うのではなく市民等で製作して機運醸成につなげていけたらと思っている。

事務局：

- ・丸岡のバスターミナル広場で使用されているワゴンのチラシを置かせていただいたが、もし10台購入すると1台12万なので120万かかる。(実物を展示)
川島先生のお力を借りながらよりよいものを作りたい。

部会員：

- ・学生は自分たちで製作してイベントを行っている。学生にうまくお願いしたい。材料費だけだと物にもよるが1万円ぐらいでできると思う。

事務局：

- ・借用してきたものは組立式になっており、5分ぐらいで完成した。

部会員：

- ・組立式がよいのか。

事務局：

- ・保管する場所も限られているので組立式にしたい。

部会員：

- ・組立式はできるが、時間がかかる。

市長：

- ・1つだけだと大きさが小さい。せめて連結するぐらいの大きさが必要。

部会員：

- ・ワゴンと合わせて傾斜台があるとよい。

部会員：

- ・展示されているワゴンはしっかり作られている。

部会員：

- ・あまり重すぎると次から使わないでおこうと思われてしまう。簡易的で使いやすいものがよい。また、学生にメリットがあるとよい。

部会員：

- ・コンセントがぶら下がっているが何のためか。

事務局：

- ・照明用である。

部会員：

- ・販売台の上にはかテントがないので日よけが広い方がよい。

部会員：

- ・そのような設計をしておいた方がよい。しかし、一番問題になるのは風である。

部会員：

- ・出店者の意見をよく聞いて決めていった方がよい。
- ・別件だが、喫煙できるスペースはあるのか。

事務局：

- ・施設外に場所を計画中である。

部会員：

- ・以前、創作の森でサンサン倶楽部というサポータークラブがあったが、現在はどうなっているか。

市長：

- ・もしかすると機能していないかもしれない。

部会員：

- ・大きなイベント時に警備等も含めお手伝いしていた。

事務局：

- ・次回までに調べてさせてもらう。

6 その他

【次回開催日時】

- ・9月開催予定

7 閉会

事務局：

- ・長時間にわたり貴重なご意見をいただきありがたい。備品や音響設備については、今後も内部でも議論を進め、令和4年度発注を目指していく。ワゴンについても調査、研究していきたい。賑わい施設も完成して終わりではなく、運営、管理が大事になってくる。今後とも皆様のご協力をお願いしたい。